

No. 1

年月日：2026年01月10日(土)

タイトル：オフシーズンの過ごし方

内容：

冬は寒いので家に居ることが多い。寝てばかりは居られないので何かすることは？ 天体写真は天気と月の影響が無いときは月に良くて数日しかないのが難点。また一つの写真を完成させるには撮影時間と編集処理に莫大な時間がかかるので気長にやるしかない。でも奇麗に撮れた時は感動ものです。今は極軸とピントを合わせておけば、スマホやタブレットで操作できて、車内でゆっくりできるようになり便利になった。しかも時代の進歩で撮った過去の写真から同じ構図に自動で持ってくるためかなり効率が上がってきた。他には音楽、映画、YouTube、スカパーやAmazonプライムビデオなど視聴で過ごす時間がかかなり増えた気がする。音楽は思えば小中学・高校・大学時代聞いた曲が何時の頃かが直ぐに当時の状況が思い出される。あの頃はスマホ等が無かった頃なので情報は音楽雑誌・FM/AMラジオだった。あの頃は活気があったな～。如何にして良い音で聞けるか… 働き出したらオーディオ機器を揃えようと思っていたが… 今となつては殆どがアナログでなくデジタルとなつて買いたい機器が見つからない。面白味が半減してしまった。残っていたレコード盤から音を聞くこともたまにある。40年以上も経過しているが音は風化していなかった。ジャケットを入れる透明の袋が風化してボロボロに砕けていくのにびっくりした。レコード針から何故音が拾えるのか？

非常に簡単な原理なのだが… 溝の内側と外側に左と右から出す音の情報の波が物理的に刻まれている。その溝を針の側面の振動をコイルと磁石で発電して、その信号をアンプで増幅してスピーカ（コイルと磁石）で空気を振動させて音にしているのである。レコード針は先端でなく針の側面を振動させているのである。

アナログ部分を扱う機器で音色が微妙に変わるので面白味がある。

カセットデッキは無くなりレコードプレーヤはまだ使えるのでその当時を思いだしながら聞いている。

No. 2

年月日：2025年05月24日(土)

タイトル：昔の映像が良い

内容：

いつの間にか還暦を通過中…

もういつ三途の川を渡っても不思議ではない。もう明日は無いと思いつつ日が過ぎていくこの頃。釣りのオフシーズンの過ごし方は人それぞれだろうけど、AVシステムも揃ってきたので音楽やドラマ・映画を鑑賞する時間も増えてきた。学生時代以前のドラマ・映画・音楽に興味がある。

昭和40年代～の時代劇の映像の風景がとても風情がありもう二度と見る事が無いだろう。

背景が富士山、山や谷、河川、道。木枯し紋次郎、子連れ狼… 「おらは死んじまっただ～…」の帰って来たヨッパライを聞いたときは衝撃だったなあ。レコードも未だに持っていたとは…

色々古いものばかりだが、今では逆に自分には新鮮で色んな発見がある。

No. 3

年月日: 2025年05月23日(金)

タイトル: そろそろ解禁

内容:

個人的に今年の釣り解禁が迫ってきた。2週間位前からようやく針を作成...

後は天井糸などを準備すればとりあえず行けるかな? 車に釣り道具を乗せ換えればいつでもGO。今年はどうだろう?

No. 4

年月日: 2024年03月06日(水)

タイトル: チェルシー

内容:

最近のニュースに明治のチェルシーが3月で販売終了とのこと。

シモンズという2人の女性が「明治チェルシーの唄」を歌っている。数年前にシモンズの歌「ひとつぶの涙」を聞いてから気に入ってCDを購入。その中に「明治チェルシーの唄」が入っていたのを記憶しており、子供の頃CMで聞いたことあるな〜と懐かしんでいたもので、今回の販売終了を知ってちょっと残念な気がする。

しかし、時代が変わって好みが変化してきたということなのかなあ〜。

最近、昭和の頃の音楽を聴くことが多くなったと感じる。

40年前後の過去の曲とは言え全く古さを感じさせない気がしている。脱線するが、日吉ミミの「世迷い言」を聞くと昔の頃ののんびりとした雰囲気の良い時代の映像が頭に浮かぶ。「...上から読んでも下から読んでも、よのなかばかなのよ〜...」いいな〜 TBS水曜劇場「ムー一族」Youtubeで視聴できる。作曲は中島みゆき。

同期デビューの山崎ハコの曲も最近良く聞くようになった。「BEETLE」「横浜から」「縁」などいいね〜

No.5

年月日：2024年01月14日(日)

タイトル：懐かしい

内容：

昔、子供の頃TVで見てた焼津の半次、花山大吉が出てたのを思い出して調べてたらYouTubeで2話配信されていた。  
<https://www.youtube.com/watch?v=0B-gAyUPcDU> 早速観て今でも面白く、今ではTVで観ることはないだろう…「あれ駄目これ駄目」で苦情になるのだろう。DVDでリマスター版が出ていて買って拝聴して昔を懐かしみながら楽しんでいる。今に無い新鮮さがある。死語となっているものも結構あるんじゃない？「おけら」「さんびん」…  
花山大吉（近衛十四郎）さんは松方弘樹の父だったとは…。花山大吉の好物「おから」でがらりと態度が変わるところ、緊張するとしゃっくり（持病）が出て瓢箪に入った酒を飲むと治るというワンポイントのお笑いもある。また、焼津の半次（品川隆二）は蜘蛛嫌いだが機関銃のごとく喋りまくる。この二人はいつも口喧嘩しているが良いコンビで観て楽しい。昭和40年代のロケ風景も参考になる。映像は途中から白黒からカラーとなっている。  
いや～懐かしい、面白い、楽しい。

No.6

年月日：2019年12月08日(日)

タイトル：PCのクリーニング

内容：

2013年頃に購入したノートPCの調子が悪いというか動画や画像処理をしてみると、すぐに熱くなり場合によっては電源が強制終了してしまう。恐らく空冷ファン周辺に埃が詰まって空気の循環が悪くなっているのではと、思い切って分解することにした。幸いにもYouTubeに分解の手順が出ていたので参考にした。空冷ファンを取り外してみると、やはり埃がかなり溜まっていて空気の流れを悪くしていた。掃除機と筆で綺麗にクリーニング、ファンも分解・クリーニングしてみたところ、今まで空冷ファンがフルで回っていたのが取まり静かになり新品時の時のように軽快になった気がする。まだまだ使えそうだ。



No.7

年月日: 2019年05月18日(土)

タイトル: もうそろそろ準備

内容:

今年のアユ釣りの準備を始めなきゃと思い針から作り始める。

だんだんどずぼらとなりつつある。もう一部の河川では解禁しているというのにのんびりとしてしまっている。

まあ、6月からの釣行となるだろう。色々やりたいことがあって釣りに集中できない。5月頃から天の川が綺麗に見える時期でもあり夜中に撮影で出かけるようになってた。水田と天の川とのコラボはこのシーズンしかみられないこともあって。

熊野の大斎原がターゲット。月の無い晴れた日でないで見れないし、季節ものは逃すと来年ということになる。

貴重な晴れ間を狙って行って今年も撮影できた。

肉眼でも天の川は見れるので感動もの。他のカメラマンもかなり居てこのシーズンは賑やかとなる。

いろいろと課題はあるがまた来年に向けて撮影方法の改善を図る予定。



No.8

年月日: 2019年03月05日(火)

タイトル: その後の星空撮影

内容:

およそ2年程前にポータブル赤道儀(ポタ赤)を使って手持ちのデジタル一眼で撮影してから、さらなる改善を求め再度挑戦。天気や月の影響のない日時となるとかなり限られるので、設定などでもたつては貴重な時間が台無しとなる。

失敗を次回に生かせるようイメージトレーニング...

まだまだ改善の余地はあるのもっとクオリティを高めたいと思っている。カメラも通常のカメラをフィルター換装してもらった中古品を買った。これだけでも星雲の色がよく写るようになったのは感動。

天の川もより良く撮影できる。

夜の楽しみも増えたのは良いが寝不足が...。明りの無い場所って意外と探すのに苦労するものです。街灯など。

天体望遠鏡ではないけど、普通のカメラレンズでもそれなりに楽しめるもんです。広角(14mm)から望遠(600mm)まで。

これからは天の川やさそり座のアンタレス周辺のカラフルな星雲撮影にトライしたい。



No.9

年月日：2019年03月03日(日)

タイトル：サーバーの設定

内容：

PHPのバージョンがPHP5.6からPHP7に変わろうとしている。サポートもそのうち切れるだろう。

サブのサーバーをほぼ最新のものにしてみて、HPの動作を確認。

今まで動いていたものがエラーになったり注意が出たりしている。

エラー表示箇所を修正しながら何とか動くようになってきた。

まだ動作がおかしなところがありまだ時間がかかりそう。

No.10

年月日：2018年12月03日(月)

タイトル：三度目の正直

内容：

久しぶりの記事。福井県の越前大野城の天空の城としての写真を撮りたくて数年前からチャレンジしてたけど、天気予報から確率の高い日を選んででも雲海は出なかった。

どのような条件をみたら良いのか出た時の気象条件を参考にしてみても、今回はもしかしたらと思い出かけてみた。2時過ぎには展望所には到着したが先行者が十数名おられ三脚が立てられて準備していた。良い場所はほぼ埋まっていたが何とか行けそうな場所を確保。三脚とカメラをセットしレンズにはヒータを取り付け準備完了。あとは雲海を待つのみ。しかし待てどガスった状態で天空とは程遠い状態。5時過ぎになっても心配が無く…、日の出過ぎまで待とうとしていたところ左側から雲海が迫ってきているのが見えて、これはもしかしたらと来た～と感じた。

暫く待つと待望の天空に。皆シャッターを切っていた。3回目でやっと天空の城が観れた。

此処の天空の予想はかなり難しいので外れても仕方ないが、前日の16時頃の濃霧注意報が出たらGOと決めていた。



